

令和4年度 第1回通常総会議事録

日時 令和4年3月27日（日）17時～18時20分
於 ホテルキャッスルプラザ多賀城3階 華菖蒲の間

赤石理事長挨拶

MORCが栈橋運営をしている中で、現在生じている問題について、第三者の立場の議論を行う、記録を残すという対策をとることで、後になって問題が起きないようにしたい。帆走を楽しむという原点から、会員の皆様が帆走を楽しめる状況確保に努めたい。以上2点について、述べられた。

総会運営

赤石理事長からベイシベルの森田氏が議長に指名された。
会員総数90名、出席者16名、委任状提出42名で総会成立が確認された。
議長よりEmichanの乾氏が議事録作成者に指名された。

審議事項

第1号議案について、総会資料に基づき、木村総務理事から令和3年度事業報告、決算報告に関する説明がなされた。続いて、飯島監事より令和3年度MORC運営及び会計について定款に沿った活動を確認した旨説明があった。
橋内理事より、役員である理事に関わる責任範囲について、無報酬である理事に対する賠償責任は免れているが、そのことを明確にするための規定作成が必要であるとの補足説明があった。
以上の説明に対する質問はなく、総会参加者全員の賛成で令和3年度MORC事業内容、会計は承認された。

業務委託に関するファクトリーマリンとの覚書

佐藤敬理事から、上記覚書締結に関する説明があった。
これまでMORC運営、施設維持にあたってファクトリーマリンに無償で対応して頂いてきた内容について、業務委託をするという覚書締結を行なった。委託内容は、ポンツーン、付帯設備の点検管理、外来艇の支援、レース運営支援、レスキューなどの業務、港湾、漁協、海上保安部、JSAFなど外部団体との調整、イベント開催時の協力、艇上下架に関する業務。
また、上下架に関しては基本的に艇所有者が作業を行うという基本ルールについて補足説明があった。年間委託料は70万円。総会参加者の多数賛成で承認された。

その他案件

前回総会後のY23経過報告

田村Y23代表者より、昨年12月の総会以後の、Y23に関する経過報告があった。
Y23部会設立、MORCにおける位置付け、Y23部会会員の分担費用、Y23泊地に関して、現在Y23部会内部で案を取りまとめたこと、その案を理事会に諮ったことについて説明があった。様々な意見があり、あらためてY23部会内部で再検討を行い、その後に理事会に

諮るということとなった。

赤石理事長から“小浜（場所）”と“小浜フリート”に関する解釈、“外洋帆走”に関する解釈の違いから生じる問題の存在。制定される規則が、帆走の楽しみを阻害しないものであることの重要性が述べられた。

議事録作成

Emichan 乾 清重